

全国小学生タグラグビー大会に関する感染防止対策について

日頃よりラグビー普及にご尽力をいただきありがとうございます。全国小学生タグラグビー大会の都道府県大会を行うにあたり下記の点をご注意ください。また大会の実施については日本ラグビーフットボール協会よりお示ししております『ラグビートレーニング再開のガイドライン』をお読みいただき開催いただけますようお願いいたします。<https://www.rugby-japan.jp/news/50495>

全般

- 観戦は、選手1名に対し保護者1、2名、それ以外に感染症対策要員1名および帯同コーチ（1～3名）とする。※各会場の大きさなど密にならないように設定をすること。
- 試合以外は、お互いにソーシャルディスタンスを意識し、行動すること。
- 会場到着時、選手、帯同コーチ、保護者全員をアルコールでの手指の消毒を行うこと。
消毒に必要なものはチームで準備し、感染症対策要員が管理する。
- 各チームで健康観察をこまめに行い、咳など、風邪症状が見られた場合は、大会途中であっても参加を取りやめること。
- 参加チームは、定期的にタグの消毒を行うこと。（消毒用溶剤などは、各チームで準備。）
- 各チーム、感染症対策要員を観戦者と別枠で1名準備し、健康チェックシート（コーチ、観戦者も含む）のとりまとめや、感染症対策人員として本部の役員と共に入り口のチェック等のサポートを依頼することもある。

入場制限

- 主催者が事前に配布した健康チェックシートを受付で提出し、配布されたリストバンドなどを着用（大人のみ）させ、グラウンドなど管理エリアに入ることができるかどうか識別できるものを使い管理する。

グラウンド・競技中

- グラウンドに入るときは必ずアルコールで手の消毒を行うこと。
- 試合中のマウスガード等の着用は認めない。(安全確保のため)
- 試合開始時、終了時の握手はしない。
- タグはレフリーに見えるように頭上高くにあげること。

(大きな声でのタグコールの積極的推奨はしないため。)

レフリー

- レフリーはマウスシールドを着用すること。(本部で準備)
- レフリーは可能であれば**電子ホイッスル**を使用する。

マスク

- 帯同コーチは試合中も必ずマスクを着用し大声での指示等は控えること。
- 選手は練習や試合を行っていない時は必ずマスクを着用すること。

→マスクを外した時記名入りのマスクケースや保管用袋(ジッパー付き袋等)は各自で準備し管理をする。

- 帯同コーチ・観戦者は常時マスクの着用を義務とする。

観戦

- 競技場の入り口で、健康管理シートを提出した保護者にリストバンドなどを配布するなど、入場の管理を行う。
- スタンドにおいても、ソーシャルディスタンスを意識し、密を避けること。
- 応援は拍手を中心とし、大声での応援は控えること。
- 保護者のグラウンドへの立入は認めない。帯同コーチのみグラウンドに入ることができる。

【参加チーム・参加者の感染症対策における準備物の例】

- 感染症対策物品（消毒用アルコール、ハンドソープ、タグ消毒用溶剤等）
- 各自のタオル（手拭き用で必ず記名） ●マスクケース（必ず記名）
- 各自の十分な水分（チームとして共有しない） 等

※以上の対策にご協力いただけない事象が発見された場合本部より注意し、それでも改善が見られない場合は、参加もしくは観戦をお断りさせて頂くことがございます

※大会前までに出場選手のチーム内に感染者が出て保健所の指示による隔離期間が試合日と重なった場合、出場辞退とする。

※チーム関係者の家族及び、選手所属の小学校（スクール等は所属全小学校）の児童・職員・保護者でコロナ陽性者が出た場合は大会本部と協議する。

※その他、当日急遽お願いすることも考えられます。ご理解ご協力よろしくお願いたします。